

埼玉県から **こども**を支える **地域ネットワーク**の構築を

このイベントは、埼玉県内の市町村や社会福祉協議会の職員の方々を主な参加者として、埼玉県における子どもの貧困対策の現在地を認識し、今後、市町村において目指していくべき方向性について共通認識を得ることを目的としたものです。

4月にこども家庭庁が発足し、秋頃にこども施策の重要項目を盛り込んだこども大綱の閣議決定も想定される中、市町村では大綱を勧案したこども計画の策定が努力義務になります。この計画には重要な要素として子どもの貧困対策が一元化されます。そして実効的な対策に不可欠なのが、官民による市町村レベル・学区レベルの地域ネットワークの構築です。

イベントでは、専門家による基調講演で子どもの貧困対策の進展とこれから目指すべき次のステージを確認した上で地域ネットワーク構築のフロントランナーとして埼玉県内の市町村や社会福祉協議会、NPOの事例を共有。その成果を確認しつつ、よりきめ細かい地域レベルでのネットワーク構築に向けて必要なことは何か、考えます。

開催日 2023年 **5/18** (木)

場所 ソニックシティホール2階 小ホール
〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町1丁目7-2 2階

時間 13:00~16:15

定員 会場 250人 / Zoom 100人 (先着順) 参加費 無料

主なプログラム
13:10-14:00 基調講演(末富 芳 日本大学文理学部教授)
14:00-15:05 県、市町村、社会福祉協議会、NPOの視点からの事例紹介
15:15-16:05 地域ネットワークの構築をテーマにしたパネルディスカッション

基調講演講師／パネルディスカッションコーディネーター

末富 芳 日本大学文理学部教授



専門は教育行政学・教育財政学。2014年より内閣府・子どもの貧困対策に有識者として参画。現在、文部科学省・中央教育審議会臨時委員もつとめる。こども基本法の制定を推進する署名活動を中心メンバーとして展開。子ども若者の権利の推進、子ども若者のウェルビーイングの実現などの視点から、幅広い関係者とともに分析し共に改善するという「アクティビスト型」の研究活動を展開している。

事例紹介登壇団体／パネリスト

- 埼玉県福祉部少子政策課
- 戸田市こども健やか部
こども家庭支援室
- 社会福祉法人
北本市社会福祉協議会
- NPO 法人 AIKURU

子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン in 埼玉

主催：公益財団法人あすのぼ

共催：埼玉県・社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会

後援：内閣府

助成：公益財団法人キリン福祉財団



埼玉県マスコット
「コバトン」



埼玉県協賛マスコット
「シャキたまくん」

申込締切：
2023年5月15日（月）



FAX 03-6277-8519

「子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 埼玉」参加申込書

日時：2023年5月18日（木）13時～16時15分（12時30分から受付開始）

会場：ソニックシティホール2階 小ホール（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-2 2階）

参加方法：会場参加 or オンライン参加（どちらか○印を）

オンライン参加の方には、前日までにZoomのID・パスコードをメール致します


お名前（ふりがな）

お住まいの市町村

ご所属・お立場

電話番号

E-mail

お申込みはこちらから インターネットでの	QRコードから 申込みフォームへ	公益財団法人あすのば <input type="button" value="検索"/>	〈お問い合わせ〉 公益財団法人あすのば 〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-6 河村ビル6F 電話：03-6277-8199 FAX：03-6277-8519 mail：info@usnova.org
		or 【モバイルの場合】 あすのばウェブサイトのトップページの「あすのば通信」覧から埼玉キャラバンの記事を選択し、記事内のフォームURLをクリック。 【PCの場合】 あすのばウェブサイトのトップページの上部メニューから「あすのば通信」を選択。埼玉キャラバンの記事からフォームURLをクリック。	

子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン と あすのば について

本事業は、全国各地で子どもの貧困対策を推進することを目的として2016年にスタートしました。これまでに46都道府県で開催され、合計4,230人が参加。支援団体や地方自治体などが結びつき、つながりをさらに深めることを重視してきました。実効的な対策の推進には産官学連携が欠かせないためです。当財団がネットワークを広げ実情を学び取ることで、国などに向けて行っている政策提言をより実態を踏まえた内容にバージョンアップしていくことも狙いです。

あすのばは、子どもの貧困をなくすことを目指して2015年に設立された財団です。その名前は、「US（私たち）」と「NOVA（新しい・新星）」を組み合わせたものです。子どもをど真ん中にした社会の実現のため、人々がつどう「明日の場」という意味。そして、子どもたちにひとりぼっちじゃないと感じてもらいたい、「私たち」と一緒だよと感じてもらいたいという願い、また、多くの方に子どもの貧困を自分事に感じてほしいという願いでもあります。そしてなによりもすべての子どもたちが明日に希望を持って、輝く新星のような人生を送ってほしいという強い願いがこめられています。